



インクルーシブ教育への期待

障害者の権利条約や障害者差別解消法により、日本でもインクルーシブ教育が急ピッチで進められています。これからの小中学校のすべての教員が、障害などによる個別の支援が必要な児童生徒の教育についての資質や能力を身につけることが求められる時代です。しかし、小中学校でのユニバーサルデザインや合理的配慮については、まだ十分な理解と対応がなされていない状況があります。

特別支援教育の推進に関して教育現場でご活躍されているパネリストの提言を受けて、今後、どのような授業づくりや学級経営を行っていけばよいのかを、シンポジウムにおいて、みんなで考えていきたいと思ひます。

挨拶 きょういく創造育成財団理事長・明海大学副学長

司会進行 東京家政大学家政学部児童教育学科長

パネリスト

東京都江東区立豊洲北小学校統括校長

(全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会長)

東京都杉並区立桃井第一小学校長

埼玉県戸田市立芦原小学校長

東京都北区立滝野川第二小学校主任教諭

高野 敬三

半澤 嘉博

喜多 好一

高橋 浩平

山下理恵子

羽毛田久美子

無料

開催日時：令和4年10月23日(日)
午後1時～3時

参加申込QR



JR埼京線十条駅下車徒歩5分

上記QRコードでの事前申し込みをお願いします。(所属・氏名・参加方法等)